

# 平成21年12月12日開催 まちづくり シンポジウムの 様子をおとどけ します



（財）自治総合センターの助成を受け、「平成21年度宝くじ広報普及事業」の一環として平成21年12月12日に行われたまちづくりシンポジウム「自治を築く 自治を育む ~高浜市における自治の未来図~」について報告します。

東京大学名誉教授の大森彌先生による基調講演「自治を切り拓く ~勇気と希望を持って挑戦し続ける」と、首都大学東京大学院教授の大杉寛先生をコーディネーターにお迎えしたシンポジウム「自治を築く 自治を育む 高浜市の自治の未来図を描く」の2部構成で、全体では約3時間半と長時間にわたりましたが、参加者は418人、市民の方をはじめ、市外からも多くの方が来場され、地域自治への関心の高さがうかがわれました。このシンポジウムの内容は記録集としてまとめ、皆様にもご覧いただけるようになります。



東京大学名誉教授・大森彌先生

第1部の基調講演では、行政学・地方自治論の第一人者としての視点から、現代における「分権」「自治」というキーワードを分析しながら解りやすくお話いただき、参加者からも「本格的な地域社会の時代の到来を実感した」という声がありました。「地域の事情に即したく豊かな自治>であるべき」という大森先生の言葉が印象的で、今後の高浜市のまちづくりの進め方、そして自治基本条例を作り上げていくうえでの貴重な示唆をいただきました。



高浜南部まち協  
板倉良平さん



高浜まち協  
神谷小百合さん

第2部のシンポジウムにはパネリストとして、市内2つのまちづくり協議会の代表者と、議長、市長が登壇しました。また、ゲストパネリストに地域自治活動の先進地である宝塚市から中山台コミュニティ会長の飯室裕文さんにお越しいただき、それぞれが関わるまちづくりの活動について、現状や課題、今後目指すものを語っていただきました。特に、中山台コミュニティの18年間に渡る活動から得られた「継続の重要性」、必要に応じた「越境連携」、更には飯室さんご自身の「軸は住民にある」というスタンスに高浜市のまちづくりの将来に必要な指針を感じ、会場の多くの方が感銘を受けられた様子でした。コーディネーターを務めていただいた大杉先生からは、最後に、市内各地域でのまちづくり活動を存分に活かした高浜市らしい総合計画・自治基本条例の検討に向けてエールをおくっていただきました。



中山台コミュニティ  
飯室裕文さん



首都大学東京大学院教授  
大杉寛先生